

山陽建設工業株式会社 (防府市/建設業)



1964年創業。創業以来、地域とともに「人々の豊かな暮らし」を紡ぐ土木・建築のエキスパート。トンネルや道路、橋などをメインに、まちのインフラを整備する工事を行う「土木工事部門」と、教育施設や文化施設、医院など、まちのシンボルとなりうる建物の工事を行う「建築工事部門」の2つの事業をメインに、人々の暮らしと地域がより豊かになるよう努める。目標は大手ゼネコンに負けない技術力で地域の発展に貢献すること。

企業概要

- 代表者 塩田 唯
- 所在地 山口県防府市大字新田 532-1
- 資本金 7,500万円
- 設立 1964年
- 従業員 53名 (パートを含む)
- T E L 0835-23-2441
- F A X 0835-23-5200
- U R L <https://www.sanyokk.co.jp/>

取組内容

若年層でも公平な評価項目・評価基準の導入により収入アップがめざせる

01 職種ごとの評価項目の設定

02 数値により採点できる基準の設定

03 個人ごとに得手不得手を反映させた個人目標の設定

●人事評価シート

カテゴリ	項目名	評価	測定理由
全社共通	B-6 自己貢献 (職務)	自己貢献の度合い(成果)も、自己貢献の度合い(努力)も	経営理念が「業績の向上」に基く評価
全社共通	F-2 アイデア案考	新しい発想で業務や課題の改善を考える	経営理念の「創設工夫」促進するための施策
職種共通	E-8 計画性	スケジュールも予定通り、課題も進捗も進んでいる	計画性を重視する
職種共通	F-6 状況把握	担当業務の状況も把握し、予測も精度も高い	現場は多岐の業務があり、状況も変化する
パートナール			

工事の種類によって働き方に大きな違いが発生する中、個々の意欲を削がないよう、できるだけ**不公平感のない評価項目・評価手法**を設定する必要があったため、職種(管理者・現場技術者・営業・事務)ごとに会社業績に反映される評価項目を設定し、数値により採点ができる採点基準を導入。各目標の評価項目に数値目標を示したことで「やるべきこと」も明確になった。また、若年層において知識・経験不足がマイナス評価につながらない制度にするため、**各人で設定できるコンピテンシー目標を設定できる**ようにし、得意分野を評価に反映できるようにしたことで、若手のモチベーションアップにつなげる工夫をした。

アドバイザーからの一言

会社のニーズと個人の成長の両面にスポットをあてた制度に

工事の種類や職種によるさまざまな働き方を分析し、数値化することで、できるだけ不公平感のない評価項目・評価手法を設定しました。また、会社からの押し付けになると、社員の意欲を削いでしまう可能性もあったため、自らの目標を自分で考えて設定できる項目も設け、目標達成や能力向上へのモチベーションアップにつながるよう工夫しました。会社業績にもリンクする数値目標を設定することで、会社のニーズと個人の成長の両面にスポットをあてた制度となり、意欲を持って長く働く職場づくりができるのではと期待しています。



飯田労務管理事務所
飯田 晃啓さん

経営者の 想い



代表取締役社長
塩田 唯さん

社員一人ひとりが 納得できる評価制度に

段階的な賃上げ計画の策定や成果に応じた評価制度を整備するベースが整いました。業種ごとや個人ごとに、ある程度自由に目標設定ができるため、若手社員がやりがいを感じ、モチベーションを上げてくれることを期待しています。今後運用していく中で、さらに納得感を感じてもらえる評価制度へとブラッシュアップさせていきたいです。

従業員の 声



総務部
江原 来麗さん

得意分野も反映され モチベーションアップに!

自己目標の設定が個別にできる自由度の高さが気に入っています。また、各目標の評価項目に数値目標が明確に示されているので、戸惑うことなく実施できそうです。若手でもやる気と成果次第でしっかりと評価されるようになり、成長のモチベーションにつながるのではないのでしょうか。可能性を最大限に引き出せる評価制度だと思います。